

第64期 事業計画

自 2022年1月1日～至 2022年12月31日

一般社団法人 日本コリークラブ

【事業概要】

牧羊犬および家庭犬としてのコリー犬種（コリー・スムースコリー・シェットランドシープドッグ・ボーダーコリー）の改良増殖並びに普及を通じて、会員相互の親睦を図ると共に、併せて動物愛護の精神を高揚に寄与することを目的とした事業を行う。

【事業目標】

日本コリークラブの伝統と歴史を尊重しつつ発展を具現化する為に・・・・

- 伝統と歴史の継承を基本理念として、近い将来のコリークラブを想定した明確なビジョンを打ち出し、展覧会のあり方、トライアルのあり方を具体化し、将来の指針を示す。
- 2023年を目途にクラブ限界会員を1,000人と位置づけ、積極的且つ確実に対策を講じる。
- 理事会の正常化及び健全化をより明確にする為に、理事と審査員の兼務を廃止し、理事は理事職に専念。審査員は審査に専念できる体制を構築する。

【事業計画】

今年度は、コリークラブ創立70周年を迎えます。

諸先輩方が、築いてこられた歴史を皆様と迎えられました事に感謝を申し上げます。

どんな状況下であっても、物事に取り組む前からできない理由を述べるのではなく、本気でクラブの未来を考え、何事にも挑戦し、その実現に向けて行動を起こし、やり遂げる想いを持つことが重要と思います。

今年度は、会員の皆様に必要不可欠な組織として、私たちがなりにどのようなクラブの未来を目指したいのかを大きく声を上げ発信して参ります。

部門別目標

(総務部)

- 「2023年を目途にクラブ限界会員を1,000人と位置づけ、積極的且つ確実に対策を講じる」の達成に向けて、広報部と協力のもと「JCC オフ会」の支援活動、拡大活動を進める。
- 「理事会の正常化及び健全化をより明確にする為に、理事と審査員の兼務を廃止し、理事は理事職に専念。審査員は審査に専念できる体制を構築する」ため、審査員の増員に努力する。具体的には、審査員推薦依頼及び審査員公募を積極的に実施する。
- 現状に則した形の規程にする為「追加、変更、削除」の検討を進める。場合に因っては、「見直しチーム」を立ち上げ補足する人材及び有識者に協力を願い、早期の取り組みを進める。

(事業部)

- 審査員規程の徹底を図り、権威ある審査員規程を構築すると共に、第2章「審査員心得」を、現状に沿うように改訂し、審査員対しては研修などあらゆる機会をとらまえ意識改革を図る。
- チャンピオンシップ事業については、東西特別展覧会、ブロック展覧会を推進し、楽しい展覧会を目指し展覧会の活性化を図る。
- トライアル事業については、底辺からの改善が必要であり地道な活動を展開する事が寛容である為、ブロック指導員制度導入の検討を進め全国展開を支援する。
- 本部主催のチャンピオンシップ、トライアル事業を施行するには、事前に実行予算を作成し、各事業終了時に清算書を作成し予算書との対比を行い無理、無駄のない運営の糧とする。

(登録部)

- 従来通り、厳正で権威ある血統証の発行及び血統証発行の期間維持に努める
- 新サイズの血統証発行元年に当たり、一日も早く親しみを持って頂ける様に広報活動に努める。

(会計部)

- 3か月毎の定期理事会に於いて、試算表、損益計算書の分析、検討をして、いち早く環境変化に対応する事業計画を基に
 - 年会費の自動引落としを検討。(会員現減少のハトメになるか?)
 - 収入、支出を個々に精査し、適正化の検討。

(広報部)

- コリー犬、シェルティ犬、ボーダーコリー犬の改良・増殖・普及の為

の情報提供に努める。

- コリーファンシー会報を年6回発行する。犬の見方及び病気など、ためになる記事を計画する。
- 「読者投稿コーナー」のページをどの会員も気兼ねなく応募でき、誰でも見やすいよう写真等も増やす。
- インターネットを活用し、コリークラブの存在を世間にアピールする。